

阿蘇の「授業力」向上のための5つの重点事項

熊本県阿蘇教育事務所

重点事項①

「分かる授業づくり」を通して「〇〇が好き」を増やしましょう。

- 中学校では、特に「分かる授業づくり」を行う。「分からない」と感じている生徒を確実に把握し、個に応じた指導の工夫を行う。
- 小学校では、特に「好き」を減らさない工夫を行う。児童の実態に応じて、「発展的な学習」を積極的に実施する。



重点事項②

1時間の授業の中で、一人一人に「できる」を実感させましょう。

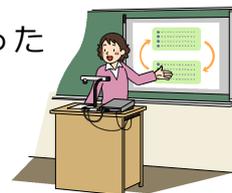
- 授業の中で常に形成的評価をしながら、「指導と評価の一体化」を図る。
- 振り返り（適用問題等）を確実にを行い、一人一人に「できる」を実感させる。
- 技能教科においても、「できる」を実感するような指導の工夫を行う。



重点事項③

4つの整合性プラス1と確実な授業の「自己分析（自評）」を行いましょう。

- 4つの整合性（目標⇔評価、めあて⇔まとめ）を図り、プラス振り返り（適用問題等）を行う。
- 授業後に、「本時の目標の達成度とその根拠、達成できなかったところが出てきた理由、そして改善策」について振り返る。



重点事項④

基礎的・基本的な知識及び技能を徹底して身に付けさせ、課題解決に向けて能動的に学ぶ熊本の授業づくりに取り組みましょう。

- 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に定着するよう、「きちんと教える」場を設定する。
- 「何を学ぶのか」が分かるめあてに沿って、「じっくり考え」「はっきり表現」させる場を設定する。



重点事項⑤

研究授業（小研等も含む）を通して、阿蘇全体の更なる「授業力」向上を目指しましょう。

- 「授業に対する意識」と「授業力」を学校全体で共有し、向上させる。

